

2021年アジアジュニア日本代表選手選考レースにおける 「アスリートレーンセレクション(ALS)」について

2021年4月26日(月)~27日(火)に開催されますアジアジュニア日本代表選手選考レースにおいて、選手によるレーン選択制度「アスリートレーンセレクション」を行います。

方法

1. アスリートレーンセレクション (ALS) は2つの手続きが必要となります。
第一はドロー (抽選) です。レーン選択優先順位を決定するために行います。
第二はドローで決定したレーン選択優先順に自分のレースレーンを選手自身が決定し審判に申告するという2つの手続きです。
2. ALSの1つ目の手続きであるドローはレースの120分前に戸田公園管理事務所の選考レース本部のある会議室に集合し行います。
注) 120分前に集合できなかった選手は優先権を失います。
3. ALSの2つ目の手続きである申告は、レースの8分前にスタートエリア (競艇場待機ピット、フィニッシュよりの地点) にて「レーン選択優先順」に各自のレースレーンを審判に申告します。
4. 「レーン選択優先順」は、前レースにおける順位に依存します。
「予選」での優先順位は、予選の前に実施される「2000m タイムトライアルのランキング」に従って決定されますのでドローは必要ありません。

5. 決勝では前のレースの順位によりドローが行われます。
- (1)例えば決勝 A の場合
- (予選 1 組・2 組・3 組の「1 位選手 3 人」と、「2 位選手 3 人」の計 6 人)
- 1)「予選各組の 1 位の 3 人の選手」は同格とみなします。
- タイム差ではありません。したがって、この 3 人はドローを行い、レーン選択優先順を決定します。
- このドローで決定されたレーン選択優先順が、Bow No.「1」「2」「3」となります。Bow No.が決勝 A レースでのレーン選択優先順を示すこととなります。
- 2)「予選各組の 2 位の 3 人の選手」は同格とみなします。
- タイム差ではありません。したがって、この 3 人はドローを行い、レーン選択優先順を決定します。
- このドローで決定されたレーン選択優先順が、Bow No.「4」「5」「6」となります。Bow No.が決勝 A レースでのレーン選択優先順を示すこととなります。
- (2)同様に、決勝 B・C においても同格の選手がドローを行う流れとなります。
6. 選手はスタート地点（競艇場待機ピット、フィニッシュよりの地点）にいる審判員に対し、レース発艇 8 分前 に、そのレースの「レーン選択優先順位」の高い選手から速やかに「所属・氏名・(選択する)レーン」を申告してください。発艇員(スタート審判)の合図の後、選択したレーンに入ります。
- 注) 8 分前の集合時間に遅れた場合はレーン選択優先権利を失います。
7. 0～500m エリアへの進入は各自のレース開始 15 分前以降となります。
8. 2021 年アジアジュニア日本代表選手選考レースの予選・決勝では、6 艇レースを基本としています。
- しかし、何らかの理由で、6 艇レース以外のレーン使用に関しては以下のレーンを使用していきます。
- 5 艇レースの場合、レーンは原則「2・3・4・5・6 レーン」から、4 艇レースの場合は、「2・3・4・5 レーン」から、3 艇レースの場合は「3・4・5 レーン」から、2 艇レースの場合は「3・4 レーン」から選択します。

以上